

組合・消防本部沿革

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災（死者2人、重軽傷者9人）が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。



◀ ガス爆発があった日の里公団
(昭和48年)



▶ 完成した消防庁舎
(昭和49年)

(過程)

| | | |
|--------|--------|---|
| 昭和49年 | 4月1日 | 初代組合長 由良半三郎氏就任 |
| (1974) | 6月1日 | 消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任 |
| | 7月13日 | 日本消防協会から広報車が寄贈される |
| | 7月31日 | 宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定 |
| | 9月1日 | 消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設 |
| | 10月1日 | 消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始 |
| | 10月1日 | 消防吏員40名採用(内38名が福岡県消防学校初任教育に入校) |
| | 10月15日 | 大島分遣所建設用地の確保決定 |
| | 10月15日 | 消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工 |
| 昭和50年 | 3月17日 | 日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される |
| (1975) | 3月20日 | 福岡県消防学校初任教育(38名)を修了し、実務に就いた |
| | 3月31日 | 消防庁舎(3署所)建築工事が完成 |
| | 4月1日 | 消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始 |
| | 4月1日 | 消防吏員11名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |

| | | |
|-----------------|--------|------------------------------------|
| | 10月 1日 | 宗像町サイレン遠隔操作開始 |
| | 10月16日 | 救助工作隊結成 |
| 昭和51年 (1976) | 2月18日 | 屈指はしご付消防ポンプ自動車購入 |
| | 4月 1日 | 消防吏員 8名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 6月16日 | 二代目組合長 天野敏樹氏就任 |
| | 7月31日 | 救助工作車購入 |
| | 10月 1日 | 消防吏員 1名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 11月15日 | 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される |
| | 11月22日 | 日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される |
| | 12月 7日 | 本部敷地内に車庫 1棟を建設 |
| 昭和52年 (1977) | 3月 1日 | 広報紙「消防宗像」創刊号を発行 |
| | 3月31日 | 救急無線取付工事完了 |
| | 6月 6日 | 人員搬送車を購入 |
| | 6月13日 | 大島分遣所電動シャッター取付工事完了 |
| | 10月 1日 | 消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 10月29日 | 化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備 |
| 昭和53年 (1978) | 3月24日 | (有) 蔭田モータースから査察車が寄贈される |
| 昭和54年 (1979) | 1月20日 | 本署用地所有権移転登録完了 |
| | 10月 1日 | 消防吏員 3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 10月25日 | 大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成 |
| | 11月 1日 | 本署消防訓練塔着工 |
| | 12月11日 | 日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される |
| | 12月20日 | 本署少量危険物屋内貯蔵所完成 |
| 昭和55年 (1980) | 1月22日 | 本署仮設車庫完成 |
| | 2月 7日 | 宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される |
| | 3月13日 | 本署消防訓練塔完成 |
| | 8月10日 | 本署自家発電設備設置 |
| | 8月31日 | 本署通信指令室増改築 |
| | 12月 1日 | 高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施 (宗像市日の里) |
| 昭和56年 (1981) | 4月 1日 | 消防本部名称変更 (宗像郡消防本部から宗像地区消防本部) |
| | 4月 1日 | 消防吏員 5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 6月30日 | 本署、タイプ室及び給湯室増改築 |
| | 10月25日 | 玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備 |
| | 11月15日 | 日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備 |
| 昭和57年 (1982) | 2月15日 | 二代目消防長 山内伸夫就任 |
| | 3月30日 | 福岡分署敷地拡張用地 (301m ²) 購入 |
| | 6月 1日 | 無線制ぎょサイレン (宗像、福岡、津屋崎、玄海) 設置 |
| | 6月21日 | 福岡分署車庫シャッター取付工事完了 |
| | 8月10日 | 福岡分署敷地拡張工事竣工 |
| | 8月20日 | 消防無線空中線改修 |
| 昭和58年 (1983) | 9月30日 | 福岡分署訓練塔 (鉄骨造) 完成 |
| | 11月 1日 | 本署訓練塔 (鉄骨ALC) 完成 |
| | 11月 4日 | 事務連絡車購入、本部に配備 |
| | 12月27日 | 本署屋内訓練場改修 |
| | 12月27日 | 本署倉庫兼書庫 (鉄骨プレハブ造) 完成 |
| 昭和59年 (1984) | 4月 1日 | 消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 5月31日 | 査察車購入、本部に配備 |
| | 10月 9日 | 小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備 |

| | | |
|--------|--------|--|
| | 11月20日 | 消防ポンプ自動車を購入、福間分署に配備 |
| 昭和60年 | 3月 4日 | 乗用車購入、本部に配備 |
| (1985) | 4月 1日 | 三代目消防長 坂本守正就任 |
| | 5月 2日 | 指揮車購入、福間分署に配備 |
| | 10月12日 | 水槽付消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備 |
| | 10月12日 | 救助工作車購入、本署に配備 |
| | 10月22日 | 福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福間分署に配備 |
| 昭和61年 | 4月 1日 | 消防吏員 2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| (1986) | 5月 7日 | 調査車購入、本署に配備 |
| | 5月14日 | 広報車購入、本部に配備 |
| | 5月24日 | 人員搬送車購入、本署に配備 |
| | 6月16日 | 福間分署改築工事竣工 |
| | 9月 3日 | 消防ポンプ自動車購入、本署に配備 |
| | 9月10日 | 資機材運搬車購入、本署に配備 |
| 昭和62年 | 8月18日 | 本部（署）庁舎増改築工事着工 |
| (1987) | | |
| 昭和63年 | 3月15日 | 本部（署）庁舎増改築工事竣工 |
| (1988) | | |
| | 5月26日 | 福岡県総合防災訓練実施（玄海町鐘崎） |
| | 6月 2日 | 三代目組合長 的場重郎氏就任 |
| | 9月 1日 | 本署通信指令室の移転工事着工 |
| 平成元年 | 2月 1日 | 本署通信指令室の改築工事完了 |
| (1989) | 2月 1日 | 消防緊急情報システム運用開始 |
| | 3月17日 | 救急自動車購入、赤間出張所に配備 |
| | 4月 1日 | 消防吏員 7名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 6月 1日 | 赤間出張所建設工事着工 |
| | 9月27日 | （社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備 |
| | 9月30日 | 赤間出張所建設工事完了 |
| | 10月 9日 | 赤間出張所実働開始 |
| 平成 2年 | 4月 1日 | 消防吏員 8名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| (1990) | 5月17日 | （社）日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備 |
| | 7月20日 | 神湊出張所建設工事着工 |
| | 11月20日 | 水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備 |
| | 12月20日 | 神湊出張所建設工事完了 |
| | 12月26日 | 神湊出張所実働開始 |
| 平成 3年 | 3月27日 | 玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される |
| (1991) | 4月 1日 | 消防吏員 3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 5月30日 | 福間分署仮眠室ベット改修工事完了 |
| | 7月25日 | 大島分遣所軽量シャッター取付工事完了 |
| | 10月30日 | 訓練塔（主塔）改修工事完了 |
| 平成 4年 | 3月 5日 | 水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備 |
| (1992) | 3月31日 | 本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（81.82㎡） |
| | 4月 1日 | 消防吏員10名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 8月15日 | 大島分遣所内装工事完了 |
| | 10月12日 | 四代目組合長 瀧口凡夫氏就任 |
| | 11月27日 | 本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（45.05㎡） |
| 平成 5年 | 4月 1日 | 消防吏員 5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| (1993) | 4月 1日 | 財務会計処理のためのコンピューター導入 |
| | 7月10日 | 福間分署シャッター取替工事完了 |

- 10月 4日 40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入
- 平成 6年 2月28日 日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される
(1994) 3月17日 屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る
4月 1日 四代目消防長 多賀富男就任
4月 1日 消防吏員 7名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
4月19日 消防組合設立20周年記念式典開催
広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作
20周年記念誌「消防宗像(20年の歩み)」作成
- 5月12日 救急救命士業務開始
7月29日 指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備
9月 6日 福岡無線中継局更新
- 平成 7年 11月11日 救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置
(1995) 2月17日 阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣
4月 1日 消防吏員 5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
4月24日 乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備
5月27日 消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功勞として感謝状が贈られた
6月30日 緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)
9月18日 赤間出張所増築工事完了
10月18日 福岡分署内装補修工事完了
11月 1日 赤間出張所 8名増員、1箇分隊増強
11月 1日 防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布した
12月16日 消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、赤間出張所に配備
12月28日 救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内2カ所目)
- 平成 8年 4月 1日 消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1996) 5月29日 大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入
9月12日 事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
10月 7日 大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
10月28日 宗像消防署訓練塔改修工事
11月 5日 救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3カ所目)
11月27日 小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
- 平成 9年 4月 1日 消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1997) 7月 1日 調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
7月 7日 査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
8月28日 福岡県知事から、消防防災功勞団体として、消防本部に感謝状が贈られた
11月 4日 化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
11月21日 高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
- 平成10年 1月27日 宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了
(1998) 3月 7日 消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られた
4月 1日 宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から宗像地区消防組合に移管された
11月25日 消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
12月21日 高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
- 平成11年 3月31日 財務会計システムを更新
(1999) 11月15日 高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
11月18日 指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
11月26日 福岡分署倉庫新築
- 平成12年 4月 1日 五代目消防長 吉武秋生就任
(2000) 4月17日 消防車救急先行システム開始
6月 8日 五代目組合長 池浦順文氏就任

| | | |
|--|--------|--|
| | 8月29日 | 救助工作車（日野KK-GD1JGDF）購入、本署に配備 |
| | 10月17日 | 広報車（トヨタカルディナ）購入、福岡分署に配備 |
| 平成13年 | 4月 1日 | 消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| (2001) | 11月 1日 | 玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、本署に配備 |
| 平成14年 | 1月29日 | 消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備 |
| (2002) | 2月 1日 | 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）購入、本署に配備 |
| | 2月15日 | 神湊出張所倉庫増築工事完了 |
| | 4月 1日 | 消防吏員3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 12月19日 | 水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備 |
| 平成15年 | 4月 1日 | 旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生 |
| (2003) | 4月 8日 | 消防吏員5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 7月25日 | はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了 |
| | 8月 4日 | 赤間出張所屋根防水工事完了 |
| | 8月 4日 | 神湊出張所外壁塗装工事完了 |
| | 8月29日 | 資機材搬送車購入、本署に配備 |
| | 10月 1日 | 六代目消防長 木村幸雄就任 |
| 平成16年 | 4月 7日 | 消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| (2004) | 7月10日 | 本部（署）庁舎増改築工事着工 |
| 平成17年 | 1月24日 | 旧福岡町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生 |
| (2005) | 1月24日 | 六代目組合長 原田慎太郎氏就任 |
| | 1月31日 | 本部（署）庁舎増改築工事完了 |
| | 3月28日 | 旧大島村が宗像市へ編入合併 |
| | 3月28日 | 七代目組合長 池浦順文氏就任 |
| | 3月31日 | 高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、福岡分署に配備 |
| | 4月 1日 | 緊急消防援助隊に消火部隊を登録 |
| | 4月 1日 | 消防吏員7名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 12月17日 | 本部（署）庁舎改築第2期工事着工 |
| | 12月19日 | 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備 |
| 平成18年 | 3月 7日 | 高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始 |
| (2006) | 4月 1日 | 交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始 |
| | 4月 1日 | 消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 5月28日 | 福岡県総合防災訓練実施（福津市西福岡） |
| | 12月21日 | 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備 |
| 平成19年 | 1月 1日 | 消防本部に救急課を設置 |
| (2007) | 3月31日 | 宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散 |
| ※ 平成19年 4月 1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。 | | |
| 平成19年 | 4月 1日 | 旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足 |
| (2007) | 4月 1日 | 初代組合長 池浦順文氏就任 |
| | 4月 1日 | 消防吏員4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 9月 1日 | I P・携帯電話発信地表示システム運用開始 |
| | 11月 1日 | 財務会計システムを更新 |
| 平成20年 | 3月31日 | 訓練塔補修工事（屋外階段設置等）完了 |
| (2008) | 4月 1日 | 消防吏員6名採用、内4名が福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 6月16日 | 消防本部庁舎空調機器改修工事完了 |
| | 10月 1日 | 消防吏員1名採用、3名が福岡県消防学校初任教育に入校 |
| | 10月31日 | 人事情報システム導入 |

歴代組合長・副組合長

| 題名 | 歴代 | 氏名 | 在任期間 | 備考 |
|------|----|-------|--------------|------|
| 組合長 | 初代 | 由良半三郎 | S49.4～S51.5 | 宗像町長 |
| | 二代 | 天野敏樹 | S51.6～S63.5 | 宗像市長 |
| | 三代 | 的場重郎 | S63.6～H4.9 | 福岡町長 |
| | 四代 | 瀧口凡夫 | H4.10～H12.5 | 宗像市長 |
| | 五代 | 池浦順文 | H12.6～H17.1 | 福岡町長 |
| | 六代 | 原田慎太郎 | H17.1～H17.3 | 宗像市長 |
| | 七代 | 池浦順文 | H17.3～H19.3 | 福津市長 |
| 副組合長 | 初代 | 井原元彦 | S49.4～S51.9 | 福岡町長 |
| | 二代 | 的場重郎 | S51.10～S63.5 | 福岡町長 |
| | 三代 | 瀧口凡夫 | S63.6～H4.6 | 宗像市長 |
| | 四代 | 和田延広 | H4.6～H11.4 | 玄海町長 |
| | 五代 | 池浦順文 | H11.5～H12.5 | 福岡町長 |
| | 六代 | 原田慎太郎 | H12.6～H17.1 | 宗像市長 |
| | 七代 | 河辺健治 | H17.1～H17.3 | 大島村長 |
| | 八代 | 原田慎太郎 | H17.3～H19.3 | 宗像市長 |

- 平成21年 (2009)
- 1月23日 福岡無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
 - 2月24日 消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施（フィールドテスト）
 - 3月6日 二代目組合長 谷井博美氏就任
 - 4月1日 七代目消防長 乙藤富雄就任
 - 4月1日 消防吏員3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
 - 7月21日 庁舎耐震診断実施（本署・福岡分署）
 - 8月24日 赤間出張所の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（85.2㎡）
 - 12月10日 高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、本署に配備
- 平成22年 (2010)
- 2月1日 事務局移転（宗像市多禮298番地）
 - 4月1日 宗像地区事務組合水道事業統合
 - 4月1日 消防吏員4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
 - 5月21日 三代目組合長 小山達生氏就任
 - 9月29日 大島分遣所外部改修工事完了
 - 10月1日 119番緊急通報に係る位置情報通知システム（統合型）運用開始
 - 10月1日 消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
- 平成23年 (2011)
- 2月25日 水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
 - 3月14日 東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各1隊（7名）出動
 - 3月15日 本部及び福岡分署庁舎耐震補強・改修工事完了
 - 4月1日 八代目消防長 門脇 豊就任
 - 4月1日 消防吏員6名採用、内3名が4月、内3名が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
 - 12月27日 車両情報表示システム改修完了
- 平成24年 (2012)
- 3月28日 消防救急無線デジタル化基本設計完了
 - 消防指令システム地図検索データ改修完了
 - 4月1日 消防吏員3名採用、内2名が4月、内1名が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
 - 5月21日 四代目組合長 谷井博美氏就任
 - 6月14日 赤間出張所外部改修工事完了
 - 9月21日 高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、神湊出張所に配備
 - 9月24日 高機能消防指令センター中間整備事業完了
 - 11月8日 宗像消防署訓練塔改修工事完了
- 平成25年 (2013)
- 2月21日 人員搬送車を更新
 - 3月19日 消防救急無線デジタル化実施設計完了